

第40回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】

F 球場（関金球場）

第 4 試合

愛光中学校（愛媛）

— 近畿大学附属広島中学校東広島校（広島）



〈打球の行方を見てホームを伺う愛光中〉



〈打球の行方を見てホームを伺う愛光中〉

平成30年8月日（土） 15:00 ~ 16:55

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
近大東広島中	0	0	0	0	2	0	2			4
愛光中	0	0	0	1	1	0	0			2

【バッテリー】 〈先 攻〉 竹尾悠斗 - 大森庸平
 〈後 攻〉 瀧本晴基 - 松井晴仁

【長 打】 〈本塁打〉
 〈三塁打〉
 〈二塁打〉

【戦 評】

序盤は投手戦も、中盤以降はお互いがチャンスを作ったが、チャンスを実際にものにした近大東広島中が競い勝った。東広島中は同点で迎えた7回、フォアボールを足がかりに1アウト2、3塁のチャンスを作り、3番村尾勇人がセンター前適時打によって、2点勝ち越した。裏の守りを竹尾悠斗が3人で締め逃げ切った。愛光中は先制をし、逆転をされた後、追いつくなど粘りを見せたが、あと一本が出ず勝利を逃した。

【勝者インタビュー】

監督談

相手ピッチャーのアウトコースのコントロールが良く、コンパクトに打ち返すバスター戦法が功を奏し逆転できた。監督の指示をよく聞いて頑張ってくれた選手を褒めてやりたい。全国大会のプレッシャーから内外野ともエラーで得点を与えてしまった。再度、守って勝つという固いソフトボールをやりたい。

主将談

中国大会の時より、相手ピッチャーを打ち崩すことができず苦しかった。監督の言われたようにバスターからの構えでゴロを打つように心がけたことが逆転につながった。監督やチームメイトに感謝しています。

重ねた努力 流した汗 光り輝け 中国の地で